

# こどもがつくる夢応援 チャリティキャンペーン 事業報告書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

NPO法人ソーシャル・デザイン・ファンド



# ゆめのはこめくめくまつり

【日程】2009年12月19日(土)

【場所】サンシャインワーフ神戸

【内容】

## ①アート・ワークショップ

- マフラー, 手袋にオリジナルのアート装飾(500円)
- 大きな洋服づくり(無料)
- トナカイの角帽子づくり(無料)

## ②ゲーム

- お魚釣りゲーム(100円)

## ③おはなし

- エプロン人形劇(無料)



灘区, 東灘区の子童館, 保育園, 学童保育などに広報活動を行った。  
 ワークショップなどの参加料が全額寄付になる仕組み。  
 こども達はアーティストのお兄さんやお姉さんと一緒にアートワークショップ  
 に参加し, 作る喜びと同時に, チャリティ活動に触れて参加できる機会とした。

【来場者数】 200人

【収入(寄付)合計】 12,700円

【寄付先】

- 《福祉》福祉作業所アートセンター叶
- 《滞日外国人支援》こうべ子どもにこにこ会

**12月19日(土)**  
**ゆめのはこめくめくまつり**  
 チャリティイベント

**時間** 11:00~16:00  
**場所** サンシャインワーフ神戸  
**「ゆめのはこミュージアム」**

大きな布にみんなが洋服を描こう! みんなでいっしょに遊ぼうよ  
**●みんなが洋服よう おおきなが洋服づくり** [11:00~12:30]

おはなしをききながら, みんなで参加できるよ  
**●おはなし** [14:00~15:00]

トナカイのほり結び帽子に装飾★  
**●トナカイのツノ帽子**

上手にお魚をつっかえ品も手に入れよう!  
**●お魚釣りゲーム「ベスカリア」**

マフラーやてぶくろに, 自分で作った  
 アフタワリをくっつけよう  
**●マフラー・てぶくろづくり**

マフラーやてぶくろに, 自分で作った  
 アフタワリをくっつけよう  
**¥500**

2つの出展の  
 アクセ  
**+¥100ずつ**

アフタワリ  
 トッピング  
**できる★**

・お給ペンホン  
 ・おハッパン  
 ・ワーキフローラ  
 ・富たまる布ワッパン

会場MAP

主催 ゆめのはこ実行委員会  
 (事務局) アートセンターカノウ  
 〒657-0056 神戸市東灘区豊原北町1-2-4  
 TEL: 078-562-2328  
 e-mail: info@artcenter-kano.or.jp  
 ホームページ: http://art.biz/index.html

サンシャインワーフ神戸  
**850円**  
 会場 神戸市東灘区  
 TEL: 078-414-1516

日本財団 助成事業

## ゆめのほこぬくぬくまつり 当日のようす



大きな洋服づくりには  
お父さんも参加して親子で楽しんでいました



アートワークショップや  
魚つりゲームはこども達に人気☆  
作って、遊んでチャリティ活動に参加！



当日は今年一番の寒さという大寒波に見舞われ、  
休日にも関わらず会場(サンシャインワーク神戸)への来場者が少なくなっていました。  
しかし、呼びかけをして集まった子ども達、保護者のみなさんは有意義だった様子。



収入を寄付をする仕組みについても説明すると、関心を持った保護者の方を中心に  
寄付先の団体(ぬくぬくまつり参加団体)の活動について興味を持った方もいました。  
寄付の呼びかけだけでなく、団体の活動PRの機会にもなりました。

# ゆめのはこ×劇団角笛 チャリティ影絵公演

【日程】 2010年3月6日(土)

【場所】 神戸文化ホール・中ホール

【内容】

## 一 劇団角笛影絵公演

劇団角笛シルエット劇場による影絵公演を開催。劇団角笛様にはチャリティ事業の趣旨にご賛同頂き、様々な面でご協力頂いた。こども達を中心に光・音・色の世界に触れ、心育ちの機会とした。

## 一 神戸市内の作業所のオリジナル商品の販売

神戸市内の福祉作業所のオリジナル商品を当日販売。チャリティ事業に対する理解もあり、お菓子を中心に雑貨などの販売も好調だった。

地域の福祉作業所を中心にチケット販売のネットワークを作り、参加団体一丸となって広報・販売活動を行った。広報力等の差もあり、販売枚数にバラつきはあったが、どの団体も趣旨を理解し、参加意識を持って関わって頂くことができた。これにより、寄付先団体の意識にも「寄付をもらう」ではなく、「ともに寄付を集める＝資金調達をする」という意識の変化が見られた。

行政、企業からの後援もあり、神戸市内の全公立小学校、兵庫県内の私立幼稚園などにチラシを配布(20,000枚)し、広報力も高まった。事前広報として神戸新聞にも掲載された。

【来場者数】 600人

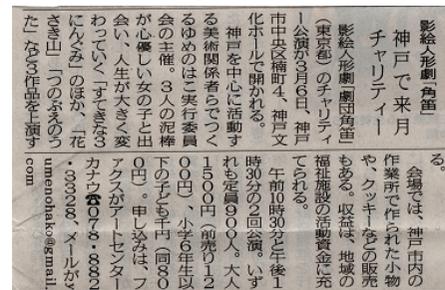
【収入(寄付)合計】 552,290円

【寄付先】

- 《福祉》福祉作業所アートセンター叶
- 《福祉》NPO法人マブイ六甲
- 《福祉》社会福祉法人木の芽福祉会
- 《福祉》社会福祉法人えんぴつの家
- 《滞日外国人支援》こうべ子どもにこにこ会

- 《福祉》NPO法人ボレロ
- 《福祉》NPO法人飛行船

神戸新聞  
2010年2月24日



ゆめのはこ×劇団角笛 影絵チャリティ公演  
**角笛シルエット劇場**

こどもの心につつまでも残る  
わかりやすく 楽しく 美しい影絵劇

花さき山  
すてきな3にんぐみ  
つぶえのうた

**2010.3/6土**  
神戸文化ホール 中ホール  
時間 第1公演 10:30～ / 第2公演 13:30～  
料金 前売 大人1200円/こども 800円  
当日 大人1500円/こども 1000円

チケット予約・お問い合わせ先  
ゆめのはこ事務局 tel/fax: 078-882-3328 e-mail: yumenohako@gmail.com

# ゆめのはこ×劇団角笛 チャリティ影絵公演 当日のようす



親子連れのほか  
福祉団体を中心に  
団体で鑑賞に來られました



ロビーでは  
福祉作業所の商品を販売

お菓子は完売！  
雑貨も好調でした☆



劇団角笛のみなさんも2回公演に関わらず  
こどもたちの歓声を聴きながら  
必死に上演されていました



上演後には  
ゆめのはこのPRや  
チャリティ事業について説明

みなさんの来場が  
地域の応援につながりました



# ゆめのはこ2010

【日程】 2010年3月26日(金)～28日(日)

【場所】 兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー

【内容】

## 一 展覧会

障害を持った子どもたちの絵や、兵庫県内の子ども達から募集したイラスト作品を展示。絵画作品だけでなく、立体作品や書道も展示した。

## 一 アートワークショップ

アーティストが子どもと一緒に作品を作る参加型のアート・ワークショップを開催。日替わりで様々なプログラムを組んだ。アーティストにはチャリティの趣旨をご理解頂き、収入はすべて寄付とした。

## 一 ゆめのはこ音楽会 & パフォーマンス

アーティストによる音楽ライブ、アートパフォーマンスのほか、作業所の大正琴の発表会も開催した。

## 一 ゆめのはこ×CASA×なだびときっさ チャリティカフェ

神戸市内の福祉作業所で作られたお菓子を中心にカフェをオープン。運営を担う学生とともに、給仕でも作業所メンバーが参加。社会参加の機会づくりにした。カフェの収入はすべて寄付とした。

角笛チャリティ公演の流れもあり、寄付先の積極的な企画・参加があった。カフェへの出店だけでなく、絵画作品の出展、パフォーマンスでの参加など、各団体の活動を活かした関わりが見られた。当日はみんなで遊びに来る団体も多く、来年度に向けて企画そのものへの理解・関心も高まった。

【来場者数】 5,000人

【収入(寄付)合計】 350,790円

【寄付先】

《福祉》アートセンター叶

《福祉》NPO法人飛行船

《福祉》六甲倶楽部

《福祉》DUAL RING

《滞日外国人支援》CASA(学生団体)

《福祉》NPO法人マブイ六甲

《福祉》NPO法人ボレロ

《福祉》ひらめの家

《福祉》社会福祉法人木の芽福祉会

《滞日外国人支援》こうべ子どもにこにこ会





## 展覧会のようす

立派な作品が勢ぞろい  
空間に一歩足を踏み入れたら  
そこはみんなのゆめのはこ

がんばった作品

見つめる眼差しは  
みんなとってもやさしいです



イラストコンテストは  
2000点！

障害を持った子も  
時間をかけて立体作品作りました

ひとり一人がきらりと光る☆

ここは特別なこども展覧会



## アートワークショップのようす

### オリジナル缶バッジ

自由に絵を描いて  
魔法の機会がガッチャン☆

ぼくのが一番！  
わたしのが一番！  
一緒に作って自慢大会だ！



### フォトデコレーション

きれいに作って  
お気に入りの写真入れようね

画用紙いっぱい切り抜いて  
かわいい飾りでいっぱい！  
お部屋に飾ろうっと♪



### スタンプハンカチづくり

ペタペタスタンプ  
何に見えるかな？  
不思議な柄、面白い柄  
いつの間にか見えてきた！

それでもまだまだ  
夢中になってペタペタペタ～



### ゆめのはこづくり

赤いはこに  
自分だけの飾り付け☆  
何を入れようかな？  
いっぱい入るかな？

今日のゆめ  
いっぱい詰めて…



### ぴっかぴかのどろ団子づくり

左官職人さんと一緒にどろ団子づくり  
心を込めて作ったら**ぴっかぴか**になるの？  
こどももお母さんも必死に磨く！

完成目指して  
2時間集中して  
がんばるぞー！！



## にこにこ会×神戸市社協 ペスカリア

こうべこどもにこにこ会は  
神戸市社会福祉協議会との  
コラボレーション企画に挑戦

団体のこども達が描いた魚で  
魚釣りゲームを作成！

神戸市社協のみなさんも  
楽しい看板で作業所PR!



上手に釣れた子には  
作業所の商品を  
景品としてプレゼント★  
かわいいグッズが  
作られているんだね

神戸市社会福祉協議会の  
マスコット・ふわぽんも  
上手に釣れたかな？

## ゆめのほこ×CASA×なだびときっさ チャリティ・カフェ



アートで遊び疲れたら  
ホッとひと息チャリティ・カフェへ！  
地域の作業所で作られたおいしいお菓子  
CASA特製ジュースが揃ってる

どれにしようかな～？  
100円握って、じっくり選んでね♪

みんなのお腹もいっぱいにして  
地域の応援にもつながりました



チャリティカフェの運営は  
関西学院大学の学生団体CASAが担当

納品までのコーディネート、給仕サポート、呼び込み、チラシづくりなど  
様々な作業所のメンバーとコミュニケーションを取りながら取り組んだ

彼女達の将来の夢でもある社会貢献を兼ねたカフェ経営にも  
ヒントが見つかったようです



## ゆめのはこ音楽会のようす



## NPO法人ボレロ 大正琴演奏会

オープニングは  
大正琴の演奏でスタート！

作業所のお仕事もこなして  
日々生懸命練習しました

手拍子いっぱい 身体も揺れる♪

これから始まる  
ゆめのはこ



毎日色々なアーティストが色々な楽器を抱えて登場する  
今日はどんな音が会場に響くかな？ 大きな声で！楽しいリズムで♪  
唄にも 楽器にも いろんな色があるんだよ



### tomoe&friendsライブ

みんなで唄おう♪  
ママと一緒に お姉さんと一緒に

ほら、どこかで聴いたことあるよね？

ギターの音色もやわらかい



### ふじたなおこライブ

お姉さんに合わせて  
自然と身体も弾んで☆

はい！  
こうしてアートの世界は  
無限に広がるのです



### ポニー&メリーライブ

唄って  
踊って  
体操して!?

こどもは元気にノリノリで♪

## 会場のようす



はいはい！  
並んでくださーい

何ができるのかな？  
どんな風にしようかな？

待っている間にあれこれふくらむ  
ぼくの わたしのイメージ



ゆめのはこは  
日替わりで色々なアーティストが  
こどもたちを驚かせにやってくる

でも気付けば驚いているのは  
いつもアーティストの方・・・  
今年も恐れ入りました  
こどもたちの想像力



僕の絵これだよ  
私の絵見つけた！

がんばって描いたイラスト  
パパ、ママ見てね！

ひとりずつ  
自分のアートの世界を作品に込めて

会場いっぱい  
みんなの想像でいっぱい

みんなのゆめで  
はこいっぱい





こんな音が出るよ！  
みんなで楽しく演奏しよう

自由な気持ちで  
リズムを刻んで♪

会場には至るところに  
アート作品や遊具がいっぱい☆  
遊んでも、遊んでも、遊び足りない！

見ていたお母さん、お父さんも  
気付けば一緒に遊んでいます

「ゆめのはこ」は  
みんなの「ゆめ」でいっぱい  
大人も子どももゆめいっぱい



障害を持った子ども  
幼い子ども  
元気いっぱいの子も

みんな一緒に遊んでる

こんなに楽しいよ♪  
自然とお互いにコミュニケーション



障害を持った子ども  
一緒になって作品づくり

好きな色を使って  
好きな材料を使って

こんなに面白いできた

早く友達にも見せたいなあ



## 商品開発事業

地域の社会活動の応援につながるオリジナルグッズの開発  
価格は「適正な」工賃を設定し、福祉作業所の**仕事づくり**になるよう配慮し、  
さらに寄付を価格の中に設定し、**資金応援**となるコンセプトを加えた。

サンプル製作では**若手アーティスト**に関わって頂き、  
商品の製作においては**地域の作業所のネットワーク**を活用。

デザインの絵は各作業所ごとに利用者の絵を使うことで、  
どの作業所でも気軽に**オリジナルグッズ**を製作することが可能となった。  
作業工程も障害の特性に合わせて役割を分担することができ、  
参加団体からは「**みんなで作業をすることができる**」と好評。

デザイナー、企業、行政などからの関心も高まっており、  
本コンセプトに基づいたオリジナルグッズの開発・販売を進めていく

今後はチャリティイベントを活用し、  
地域の人々や企業への**販路を開拓**し、**継続的な資金調達**につなげていく



## 【2009年度事業を終えて】

### 《収入の実績について》

2009年度の収入総額は**915,780円**。また、寄付先の「福祉作業所アートセンター叶」が**一般財団法人の法人格取得に必要な300万円の調達**につながり、設立することができた。

### 《事業を通じて感じたこと》

今回実施した方法のように、「寄付先」である団体と**「事業パートナー」**としてともに企画立案・運営したことで、**各団体の運営力の強化**につながったと感じた。事実、本事業を通じてできたつながりから他の事業での連携も生まれ、私たちNPO法人ソーシャル・デザイン・ファンド(以下SDF)にとっても可能性が広がる実りがあった。

その一方、まだまだ個々の団体では外部とのネットワークが少なく、広報力、販売力が脆弱である。例えば、「角笛影絵チャリティ公演」ではチケットの収入が寄付になるため、各団体とチケットの販売に協力して取り組んだが、個々の団体の販売枚数も少なく、寄付収入は当初の予想を大きく下回ってしまった。各団体が既存事業のみで手一杯な背景もあるが、**地域や企業とのつながりが弱い**ことが明らかになった。

今後も広報や販路拡大においてはSDFが先導する必要性を感じたが、事業提携を通じて各団体と地域とのつながり作りにも視野に入れて関わっていきたい。

### 《今後の展開》

2009年度を通じて**地域の作業所とのネットワークが構築**できた。また、各団体の**「強み」**も分かり、今後事業の提携を**円滑に**進めていくことができる。その際、私たちSDFがネットワークのハブとなり、各団体の特徴を活かしつつ、**地域全体の団体の連携**を進めていきたい。

また、どの団体も資金確保の面で課題を抱えており、**本チャリティ事業助成を活用して持続的、安定的な資金調達の仕組みを作る必要性**を感じた。今回関わった団体はチャリティ事業の仕組みについても理解が深まり、来年度の事業を運営する際には、より積極的に参加することが期待できる。参加団体の意見を取り入れながら事業を改善し、**納得の実績**を作り、参加団体のみなさんと喜びを味わいたい。